

明治国際医療大学 保健医療学部

救急救命学科

講義概要

〔2017〕

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
樋口 敏宏			
配当学科：救急救命学科	時間数：15時間	授業形態：講義	

授業目標	本学の「建学の精神」「教学の理念」「沿革」「教育目標」を理解し、明治国際医療大学の学生として求められる学修態度と姿勢を明確にする。また、現代医療の課題を踏まえて看護学部、鍼灸学部、保健医療学部の教育概要を理解し、明治国際医療大学の求める医療人像について理解を深める。また、救急救命士が、知るべき研究内容や専門領域における基礎知識や特徴などを教授し、医療人となるための動機付けを行なう。
授業計画	<p>第1回 「建学の精神」及び「教学の理念」について（担当：樋口） [到達目標]</p> <p>第2回 救急救命士とは何か（担当：田中） [到達目標]</p> <p>第3回 鍼灸学科のカリキュラム（担当：角谷） [到達目標] 教育概要と目指す医療人像</p> <p>第4回 柔道整復学科（担当：岡本） [到達目標] 教育概要と目指す医療人像</p> <p>第5回 看護学科のカリキュラム（担当：山下） [到達目標] 教育概要と目指す医療人像</p> <p>第6回 現代医療における病院の役割について（担当：苗村） [到達目標] チーム医療、統合医療における救急救命士の係わりについて</p> <p>第7回 救急の沿革について（担当：植田） [到達目標]</p> <p>第8回 消防官の職務について（担当：木内） [到達目標]</p>
授業時間外の学習（準備学習等）について	講義内で出題されたテーマや内容などについて自分で調べ、復習を行う。
教科書	特に指定しない。
参考書	特に指定しない。
成績評価	提出するレポート及び出席時間等を総合的に評価する。
担当教員の基本情報	<p>担当教員名 : 樋口 敏宏 研究室 : 病院1階MRセンター メールアドレス : higuchi@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 月曜日 17:00-18:00</p> <p>担当教員名 : 角谷 英治 研究室 : 病院2階 鍼灸学系教員室 メールアドレス : e_sumiya@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 金曜日 16:00-17:00</p> <p>担当教員名 : 岡本 武昌 研究室 : 8号館4階教授室 メールアドレス : オフィスアワー :</p> <p>担当教員名 : 山下 八重子 研究室 : 10号館8階教授室 メールアドレス : y_yamashita@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 火曜日 14:00-16:00</p> <p>担当教員名 : 苗村 建慈 研究室 : 病院2階教授室 メールアドレス : オフィスアワー : 月曜日 16:30-17:00</p> <p>担当教員名 : 田中 秀治 研究室 : 6号館2階講師室 オフィスアワー : 授業の終了後</p> <p>担当教員名 : 植田 広樹 研究室 : 6号館2階講師室 オフィスアワー :</p>

	担当教員名 : 木内 賢一 研究室 : 6号館2階講師室 オフィスアワー :
備考	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
中澤 鮎美			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：講義	

授業目標	「コミュニケーション」の社会的意義と生物学的背景を正しく理解していくことを目指す。授業で理解したこと・考えたことを踏まえ、自他に沸き起こる感情・心理面、論理的意思決定など、広範囲に及ぶ医療に必要なコミュニケーションをとるための基礎技術を獲得していく。グループワークを通して、集団力動を学んでいく。		
授業計画	1	イントロダクション コミュニケーションの基本的な構造について理解する	
	2	ブラインドワーク 他者に心身を委ねることの難しさ、および他者援助の方法について理解する	
	3	記憶 人間の記憶のメカニズムについて理解する	
	4	非言語的コミュニケーション 非言語的コミュニケーションについて理解する	
	5	言語的コミュニケーション 言語的コミュニケーションについて理解する	
	6	応答態度の理解(1) 応答態度について理解する	
	7	応答態度の理解(2) 自分の応答態度を知る	
	8	アサーション アサーションについて理解する	
	9	カウンセリングの技法 傾聴について理解する	
	10	交流分析 交流分析について理解する	
	11	集団コミュニケーション(1) 集団コミュニケーションの基本的な構造を理解する	
	12	集団コミュニケーション(2) 集団におけるリーダーシップについて理解する	
	13	医療におけるコミュニケーション(1) 慢性疼痛などの患者とのコミュニケーションについて理解する	
	14	医療におけるコミュニケーション(2) チーム医療のコミュニケーションの基本を理解する	
	15	まとめ	
授業時間外の学習 (準備学習等)について	コミュニケーションに関して、授業で学んだことや、考えたことを日常場面と照らし合わせてもらいたいと思います。授業で学んだ技術を実践し、体験的に学習をすすめていくことをのぞみます。		
教科書	特になし		
参考書	適宜、講義中に解説し紹介する。		
成績評価	授業出席（30％）、授業内レポート・期末レポート（70％）で総合的に評価する。		
担当教員の基本情報	担当教員名	：中澤鮎美	
	研究室	：	
	メールアドレス	：	
	オフィスアワー	：授業後10分	
備考			

講義科目名称：現代国語読解

授業コード：1E104

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
下川 篤			
配当学科：救急救命学科	時間数：15時間	授業形態：講義	

授業目標	日本語を読み、理解し、書く能力は学習を進めるアカデミックスキルとして不可欠であり、また社会人、医療人としても必須の能力です。 この講義では、日本語の表記や文章の構成等について学び、小論文を実際に書くことを通して、日本語のリテラシーを身につけ、日本語を正しく使うための基礎的知識を学ぶことを目標とします。		
授業計画	1回目	国語力の確認テスト [到達目標] 自らの国語力を確認する	
	2回目	当初テストの解説、日本語の表記について [到達目標]	
	3回目	文章構成の基本1 [到達目標]	
	4回目	文章構成の基本2 [到達目標]	
	5回目	小論文の書き方。小論文作成1 [到達目標]	
	6回目	小論文1について。小論文作成2 [到達目標]	
	7回目	小論文2について。小論文作成3 [到達目標]	
	8回目	まとめ（評価含む） [到達目標]	
授業時間外の学習（準備学習等）について	授業で適宜案内します。		
教科書	授業で配布するプリントを使って、日本語の表記や文章の書き方等について学びます。また、読む側が正確に理解できる文章の書き方について練習します。		
参考書	国語辞典（高校時代のものでよい。電子辞書も可。）		
成績評価	出席や提出物、試験、の三項目を総合的に評価します。 出席20%、提出物20%、試験60%で評価します。		
担当教員の基本情報	担当教員名	：下川 篤（非常勤講師）	
	研究室	：6号館1階非常勤講師室	
	メールアドレス	：	
	オフィスアワー	：授業終了後	
備考			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
樋口 敏宏			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：演習	

授業目標	初年次教育の一環であり、学生間、学生-教員間のコミュニケーションを密接にすることでスムーズな大学教育への導入を図る。具体的には、医療に関する未知の世界に関心を持ち、大学で主体的に学ぶ意欲を高め、姿勢を整えること、「読み」「書き」「考える」能力を鍛え、基本的な学修作法を身につけることをめざす。また、救急救命士になるための心構えを明確にする。
授業計画	<p>第1講 救急救命学科の教育方針について（担当：樋口） [到達目標]</p> <p>第2講 救急救命士になるために必要な大学教育について－基礎医学を中心に－（担当：林） [到達目標] 大学教育のうち、基礎医学の教育の重要性を理解する。</p> <p>第3講 HR [到達目標] 履修登録および今後の教育方法等について</p> <p>第4講 規律訓練（各個訓練） [到達目標] 基本の姿勢、休めの姿勢、敬礼、脱帽、着帽</p> <p>第5講 規律訓練（各個訓練） [到達目標] 右（左）向け、半ば右（左）向け、後ろ向き</p> <p>第6講 規律訓練（部隊訓練） [到達目標] 整列、横隊の集合、横隊の整頓、行進</p> <p>第7講 規律訓練 [到達目標] 各個訓練スキルチェック</p> <p>第8講 生命倫理（担当：小峯 中央大学） [到達目標]</p> <p>第9講 一期生に伝えたいこと（担当：高橋 国士舘大学） [到達目標]</p> <p>第10講 救急救命士のこれから（担当：喜熨斗 国士舘大学） [到達目標]</p> <p>第11講 救急救命士の役割（担当：月ヶ瀬 国士舘大学） [到達目標]</p> <p>第12講 HR [到達目標] 履修状況について、規律の必要性について</p> <p>第13講 HR [到達目標] グループワーク（アクティブラーニング）</p> <p>第14講 HR [到達目標] アクティブラーニングを用いてグループワーク（課題解決）、グループ発表</p> <p>第15講 HR [到達目標] 前期の学修状況、後期授業に向けて</p>
授業時間外の学習（準備学習等）について	必要に応じて適宜指示します。
教科書	特に指定はなし。
参考書	特に指定しない。
成績評価	出席、課題及びレポート提出等により総合的に評価する。
担当教員の基本情報	<p>担当教員名 : 樋口 敏宏 研究室 : 病院1階MRセンター メールアドレス : higuchi@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 月曜日 17:00-18:00</p> <p>担当教員名 : 小峯 力 研究室 : 6号館2階講師室 オフィスアワー : 授業終了後</p>

	<p>担当教員名 : 高橋 宏幸 研究室 : 6号館2階講師室 オフィスアワー : 授業終了後</p> <p>担当教員名 : 喜熨斗 智也 研究室 : 6号館2階講師室 オフィスアワー : 授業終了後</p> <p>担当教員名 : 月ヶ瀬 恭子 研究室 : 6号館2階講師室 オフィスアワー : 授業終了後</p> <p>担当教員名 : 林 知也 研究室 : 8号館4階研究室 メールアドレス : オフィスアワー : 月曜日 17:00-18:00</p>
備考	

講義科目名称：生活と環境

授業コード：1E107

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択必修
担当教員			
前中 一晃			
配当学科：救急救命学科	時間数：15時間	授業形態：講義	

授業目標	21世紀の人類の課題は、エネルギーや資源、自然、環境、生命をめぐる多くの問題に向いあうことである。そのためにさまざまな現象を生み出してきた地球の環境条件がどのように変化してきたかを体系的に学習する。		
授業計画	1回目	はじめに [到達目標] 地球にはさまざまな環境問題がある。	
	2回目	地球史概観 [到達目標] 地球46億年の歴史について概観する。	
		[備考] 地球史年表の作成 地球環境の変遷について理解するため地球史の時代区分を知っておく。	
	3回目	地球環境を変えたもの① [到達目標]	
	4回目	大気の成分を変えたもの 地球環境を変えたもの② [到達目標]	
	5回目	地球の環境を破壊したもの 病んでる地球 [到達目標]	
	6回目	病んでる地球とはどういうことか 深刻な環境問題 [到達目標]	
	7回目	地球温暖化・ごみ問題 広がる環境問題 [到達目標]	
	8回目	オゾン層の破壊・水問題 まとめ レポート作成等	
授業時間外の学習 (準備学習等)について	使用するプリントを事前配布する。あらかじめ調べしておくように。		
教科書	毎週プリントを配付		
参考書	なし		
成績評価	出席点+試験点で判断。 出席点には毎授業で実施する小試験の点数を加味。		
担当教員の基本情報	担当教員名 : 前中 一晃 (非常勤講師) 研究室 : 6号館1階非常勤講師室 メールアドレス : mae7kaz3aki4@docomo.ne.jp オフィスアワー : 講義終了後		
備考			

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
河井 正隆			
配当学科：救急救命学科	時間数：15時間	授業形態：講義	

授業目標	<p>大学生活のキックオフとして、到達目標で掲げる授業課題に対してクラスメイトとの協同作業を通して、学生個々が骨太の学修者として成長することを、本授業の目標とする。</p> <p>到達目標：①公務員試験（消防官採用試験）に対応できる国語力を修得する。②公務員試験（消防官採用試験）に対応できる資料解釈力を修得する。</p>
授業計画	<p>第1講 ①オリエンテーション、②スキーマについて 【到達目標】 オリエンテーションでは、チーム学習、チーム編成、C-Learningについてそれぞれ説明する。</p> <p>第2講 ①暗記のMechanismを知ろう！、②学習スタイルを知ろう！ 【到達目標】 ①暗記のMechanismを述べることができる。②暗記のMechanismを駆使し、暗記が必要な場面で活用できる。 ③学習スタイルを自ら述べるができる。</p> <p>第3講 ①日本語を知ろう！、②資料解釈に挑戦しよう！ 【到達目標】 ①課題で示す漢字や熟語を想起することができる。②課題で示す資料を的確に解釈することができる。</p> <p>第4講 ①日本語を知ろう！、②資料解釈に挑戦しよう！ 【到達目標】 ①課題で示す漢字や熟語を想起することができる。②課題で示す資料を的確に解釈することができる。</p> <p>第5講 ①日本語を知ろう！、②資料解釈に挑戦しよう！ 【到達目標】 ①課題で示す漢字や熟語を想起することができる。②課題で示す資料を的確に解釈することができる。</p> <p>第6講 ①日本語を知ろう！、②資料解釈に挑戦しよう！ 【到達目標】 ①課題で示す漢字や熟語を想起することができる。②課題で示す資料を的確に解釈することができる。</p> <p>第7講 ①日本語を知ろう！、②資料解釈に挑戦しよう！ 【到達目標】 ①課題で示す漢字や熟語を想起することができる。②課題で示す資料を的確に解釈することができる。</p> <p>第8講 まとめ（評価含む）</p>
授業時間外の学習（準備学習等）について	<p>授業時間外の課題（予習・復習）は、すべてC-LearningへUPするので、課題内容に応じて、チームまたは個人でその課題に取り組み提出する。C-Learningについては、オリエンテーションで説明する。</p>
教科書	各授業でプリントを配布する。
参考書	授業で適宜紹介する。
成績評価	出席点（欠席1回につき、-5点）、課題提出点（各未提出で、-2点）、期末試験（100点満点）の3つの合計点で評価する。
担当教員の基本情報	<p>担当教員名：河井 正隆 研究室：明治東洋医学院専門学校 メールアドレス：kawai@meiji-s.ac.jp オフィスアワー：授業終了後</p>
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
赤澤 淳			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：講義	

授業目標	人体の仕組みを理解する上で必要となる物理、及び数学の基礎知識を習得し、人体の動きに代表される自然界の様々な現象を、物理量によって表現できることを到達目標とする。 骨、筋肉、神経など人体の構造と役割を理解する上で必要となる、力学や電磁気学など物理学的な考え方を習得し、呼吸や血液の働きと密接な関わりのある、液体と気体の性質について学習する。
授業計画	<p>第1回 数学の基礎 到達目標：代数、ベキ乗、複素数を自由に扱うことができる。</p> <p>第2回 二次関数とグラフ 到達目標：二次関数について頂点や切片をグラフとともに理解し、方程式を解くことができる。</p> <p>第3回 三角関数 到達目標：sin, cos, tan を理解し、基本的な三角関数の公式を使うことができる。</p> <p>第4回 図形問題 到達目標：円、多角形の基本性質を理解し、平行線、合同、相似に関する性質を使って問題を解決できる。</p> <p>第5回 中間試験 到達目標：第1回から第4回までの数学問題を解決できる。</p> <p>第6回 力と運動方程式 到達目標：物体の運動について質量、力、加速度の関係を理解し、等加速度運動や衝突を運動力学的に説明できる。</p> <p>第7回 いろいろなエネルギー 到達目標：エネルギー保存の法則を理解し、位置エネルギーと運動エネルギーを相互に変換することができる。</p> <p>第8回 力のモーメント 到達目標：力のモーメントを理解し、テコや滑車を使って力を有効に使うことができる。</p> <p>第9回 振り子とバネ 到達目標：周期的な運動を続ける物体の運動を説明できる。</p> <p>第10回 電磁気 到達目標：電気の性質を理解し、電気抵抗、電流、電圧の計算ができる。</p> <p>第11回 電磁波 到達目標：主な電磁波の違いを理解し、光や電離放射線について説明できる。</p> <p>第12回 波動 到達目標：波の動くイメージをつかまえることができる。</p> <p>第13回 熱 到達目標：気体の状態方程式を理解できる。</p> <p>第14回 原子 到達目標：原子の基礎的な内容について説明できる。</p> <p>第15回 試験及び総括 到達目標：講義全体を振り返り、自然現象を総合的に判断し理解することができる。</p>
授業時間外の学習 (準備学習等)について	必ず復習すること。(30分)
教科書	特に指定しない。
参考書	視覚でとらえるフォトサイエンス物理図録—新課程 (数研出版株式会社(著) ISBN-10: 4410265121)
成績評価	試験80%、課題20%
担当教員の基本情報	担当教員名 : ○赤澤 淳 研究室 : 8号館4階 メールアドレス : j_akazawa@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 火曜日
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
鳴瀬 善久			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：講義	

授業目標	<p>生物について学ぶことは、自分自身をより深く理解することにつながる。この地球上の多種多様な動物・植物、微生物種やウイルスが存在する広い生物界において、人は、生存をかけた食物連鎖の中におり、食物をどのようにして食べ、その栄養分をどのように利用してカラダの構成成分を作るかなどを学習し、医療人の一人として人間や他の生物の存在意義について理解し考察できることを目指す。</p> <p>この講義では生物基礎の「生物と遺伝子」「生物と体内環境の維持」「生物の多様性と生態系」内容を踏まえて、消防官試験の教養試験生物範囲をカバーできるよう「生命現象と物質」「生殖と発生」「生物の環境応答」「生態と環境」「生物の進化と系統」について学習する。</p>
授業計画	<p>1回目 1) 生命現象と物質、細胞と分子 [到達目標] 生態物質と細胞、生命現象とタンパク質について説明できる。 [備考] 毎回、講義に必要な部分のプリントを配布。講義終了後は、必ず復習をしてその日のうちに講義内容を理解しよう！ 細胞の内部構造、生体膜、タンパク質の構造、物質の輸送、情報伝達に関わるタンパク質、酵素の働き</p> <p>2回目 代謝 [到達目標] 呼吸、光合成、窒素同化について説明できる。 [備考] 呼吸の仕組み、発酵、解糖、光合成の仕組み、細菌の光合成、窒素の同化</p> <p>3回目 遺伝情報の発現（1） [到達目標] 遺伝情報とその発現について説明できる。 [備考] DNAの複製、転写、スプライシング、翻訳</p> <p>4回目 遺伝情報の発現（2） [到達目標] 遺伝子の発現調節、バイオテクノロジーについて説明できる。 [備考] 転写レベルの調節、細胞の分化、PCR法、制限酵素、ベクター、酵素の性質</p> <p>5回目 2) 生殖と発生、有性生殖（1） [到達目標] 減数分裂と受精について説明できる。 [備考] 減数分裂の意義、独立の法則、性染色体</p> <p>6回目 有性生殖（2） [到達目標] 遺伝子と染色体について説明できる。 [備考] 連鎖と組換え</p> <p>7回目 動物の発生 [到達目標] 配偶子形成と受精、初期発生の過程、細胞の分化と形態形成について説明できる。 [備考] 配偶子形成と受精、卵割から神経胚まで、胚の前後軸の決定、誘導現象、誘導の連鎖、ホメオティック遺伝子</p> <p>8回目 植物の発生 [到達目標] 配偶子形成と受精、胚発生、植物の器官の分化について説明できる。 [備考] 被子植物について、ABCモデル、花粉管の伸長の仕組みなど</p> <p>9回目 3) 生物の環境応答、動物の反応と行動 [到達目標] 刺激の受容と反応、動物の行動について説明できる。 [備考] 眼、耳の刺激受容の仕組み、筋肉収縮の仕組み、神経興奮が発生して伝えられる仕組み、夜行性動物の音を手掛かりした移動など</p> <p>10回目 植物の環境応答 [到達目標] 植物の環境応答について説明できる。 [備考] 植物ホルモン、光受容体（フィトクロム）</p> <p>11回目 4) 生態と環境、個体群と生物群集 [到達目標] 個体群と生物群集について説明できる。 [備考]</p>

	<p>12回目 個体群内、個体群間の相互作用、つがい関係、血縁関係、生態的地位、多様な種が共存する仕組み 生態系 [到達目標] 生態系の物質生産、生態系と生物多様性について説明できる。 [備考] 物質生産、エネルギー効率、生物多様性に影響を与える要因（生態系の攪乱、外来生物の移入）など</p> <p>13回目 5) 生物の進化と系統、生物の進化の仕組み（1） [到達目標] 生命の起源と生物の変遷について説明できる。 [備考] 生命の誕生、海の形成、大気組成の変化、生物の陸上進出、大量絶滅、ヒトの進化など</p> <p>14回目 生物の進化の仕組み（2）と生物の系統 [到達目標] 進化の仕組み、生物の系統について説明できる。 [備考] 突然変異、自然淘汰、遺伝的浮動、適応と分子進化、適応放散、染色体の倍数化・異数化、ドメイン、高次の分類群など</p> <p>15回目 講義のまとめと試験 1-14回を範囲とした筆記試験 [備考] 講義の総括を行い、テストを行う。</p>
授業時間外の学習（準備学習等）について	<p>講義は、生物学の参考書や公務員教養試験の生物問題を基にプリントを作成し、それらを用いて講義を進める。 消防官を目指す者は、講義後は必ずプリント内容の理解に努め、わからない場合は徹底的に調べ、質問して解決に努めること。 また、毎回ではないが講義内容の小テストを数回行い、どの程度理解できているか確認する（講義後提出）。 私語、遅刻、欠席厳禁！公務員試験現役合格を目指し、毎回出席すること！</p>
教科書	特になし（講義時間ごとにプリントを配布）
参考書	<p>高校教科書『生物』（数研出版）など 『生物用語集』吉田邦久 他共著（駿台文庫） 『視覚でとらえるフォトサイエンス 生物図録』鈴木 孝仁 監修（数研出版） 『キャンベル 生物学』Neil A. Campbell、小林 興 監訳（丸善） 公務員試験対策 『新 Quick Master 8 自然科学Ⅱ（生物・地学）』LEC編著（東京リーガルマインド） 『過去問ダイレクトナビ 生物・地学』資格試験研究会編著（実務教育出版）</p>
成績評価	<p>講義内容に関連した知識を筆記試験にて把握し、その理解度を評価する。 評価割合：出席と小テスト20%、試験80 %</p>
担当教員の基本情報	<p>担当教員名 : 鳴瀬 善久 研究室 : 8号館4階 教授室 メールアドレス : ynaruse@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 水、木曜日放課後</p>
備考	

講義科目名称：データ解析法

授業コード：1E112

英文科目名称：Data Analysis

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択必修
担当教員			
都築 英明			
配当学科：救急救命学科	時間数：15時間	授業形態：講義	

授業目標	コンピュータおよび表計算ソフトウェアを用いて、実験データなど多くの情報を整理し解析する手法を身につけることを目的とする。 到達目標：デジタルデータを正確に取り扱い、実験データの記録と解析をコンピュータを用いて行うことができる。
授業計画	<p>第1回 基本的な表計算ソフトの使い方と基本練習 到達目標：表計算ソフトで簡単な計算ができる。キーボードショートカットを用いた操作を習得する。 備考：小テストあり</p> <p>第2回 グラフと関数・図表の読み取り 到達目標：関数を使った計算を理解し、グラフを作成することができる。また、資料等に示される図表を正しく読み取り解釈できる。 備考：小テストあり</p> <p>第3回 復習 到達目標：PCおよびソフトウェア操作の基本的な操作をスムーズに行う事ができる。 備考：小テストあり</p> <p>第4回 実験データとデジタルノート 到達目標：実験で得たデータの安全な取り扱い方と実験ノートの意義について学ぶ。 備考：小テストあり</p> <p>第5回 分散と標準偏差 到達目標：データの分布とばらつきについて理解する。 備考：小テストあり</p> <p>第6回 さまざまなグラフ：円グラフ・回帰直線と相関係数 到達目標：割合やデータの相関について理解する。 備考：小テストあり</p> <p>第7回 復習と演習 到達目標：学習した内容をもとに、独力でデータを統計的に解析できる。 備考：小テストあり</p> <p>第8回 試験 到達目標：適した解析方法を選択して提示された数値データを正確に処理し、グラフ等を用いて視覚的にレポートを作成できる。</p>
授業時間外の学習 (準備学習等)について	講義用の学内サイトを参照のこと。 http://mmh1.meiji-u.ac.jp/moodle/
教科書	特に指定しない。
参考書	特に指定しない。
成績評価	試験80%、課題20%
担当教員の基本情報	<p>担当教員名 : 河合 裕子 研究室 : 病院1階 MRセンター メールアドレス : kawai@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 月曜日17:00-18:00</p> <p>担当教員名 : ○都築 英明 研究室 : 1号館2階 教授室 メールアドレス : tsuzuki@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 金曜日9:00-12:00、15:00-17:00</p> <p>担当教員名 : 梅田 雅宏 研究室 : 病院1階 MRセンター メールアドレス : ume@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 月曜日17:00-18:00</p>
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択必修
担当教員			
橋本 貴美子			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：演習	

授業目標	医療関係に携わる者にとって、英語は、単に社会人の教養として必要であるだけでなく、専門知識の獲得、情報収集・提供、また、コミュニケーションの手段として重要な役割を果たします。「英語 I」では、英文法の基本をおさえつつ、読む・聞く・話す・書くの4技能のバランスのとれた活動を行うことにより、英語の基礎知識の定着を図ることを目標とし、「医療人のための英語」へとつなげます。		
授業計画	第1講	<p>科目のオリエンテーション、Pre-Unit 基本語順、Unit 1 動詞の現在形 Welcome to Japan</p> <p>【到達目標】 動詞の基本語順を理解し、主語に即して動詞の活用ができ、否定文や疑問文などでも正しい活用ができる。 また、動詞の現在形を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第2講	<p>Unit 2 代名詞 That Sounds Like Fun</p> <p>【到達目標】 代名詞の働きや格変化が理解できる。また、代名詞を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第3講	<p>Unit 3 時を表す前置詞 We leave on Friday Morning</p> <p>【到達目標】 前置詞の働きと時を表す前置詞の種類が理解できる。また、前置詞を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第4講	<p>Unit 4 基本文型 You Know a Lot About Trains</p> <p>【到達目標】 英語の基本的な語順のパターンが理解できる。また、基本文型を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第5講	<p>Unit 5 動詞の過去形 I Didn't Want to Leave</p> <p>【到達目標】 動詞の過去形とその変化が理解でき、否定文や疑問文でも正しい活用ができる。また、動詞の過去形を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第6講	<p>Unit 6 進行形 You're Working Late Unit 7 未来形 I'm Sure He'll Understand</p> <p>【到達目標】 進行形と未来形の働きと基本語順が理解でき、否定文や疑問文でも正しい活用ができる。また、進行形と未来形を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第7講	<p>Unit 8 助動詞 I'll Remember That</p> <p>【到達目標】 助動詞の基本語順と種類が理解できる。また、助動詞を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第8講	<p>Unit 9 to不定詞・動名詞 Hiro Forgot</p> <p>【到達目標】 to不定詞と動名詞の働きと基本語順が理解できる。また、to不定詞や動名詞を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第9講	<p>Unit 10 現在完了 How Have you been?</p> <p>【到達目標】 現在完了の意味と基本語順が理解できる。また、現在完了を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。</p>	
	第10講	<p>Unit 11 接続詞 While They're Here</p> <p>【到達目標】 接続詞の働きと種類が理解できる。また、接続詞を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p>	

	<p>第11講</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。 Unit 12 比較 How Was Tennis?</p> <p>【到達目標】 比較級・最上級の作り方と基本語順が理解できる。また、比較級・最上級を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。 Unit 13 受動態 What Do You Mean?</p> <p>【到達目標】 受動態の働きと基本語順が理解できる。また、受動態を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。 Unit 14 分詞 Well, What Are You Waiting For?</p> <p>【到達目標】 現在分詞・過去分詞の意味と働きが理解できる。また、分詞を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 Grammar Pointsを覚え、書けるようにする。次回小テストを実施する。 Unit 15 関係代名詞・関係副詞 The Last Supper、復習</p> <p>【到達目標】 関係詞の働き、活用や種類が理解できる。また、関係詞を含む文章を聞き、読んで理解し、さらに英語で表現することができる。これまでの既習のGrammar Pointsについて基本的に理解できている。</p> <p>【備考】 今回は既習事項のまとめとして確認テストを行う。 まとめ（評価含む）</p> <p>【到達目標】 既習事項が基本的に理解できている。また、文法や構文に注意して英文の内容が理解でき、さらに、英語で表現することができる。</p> <p>【備考】 まとめとしての確認テストを行い、評価する。</p>
授業時間外の学習（準備学習等）について	<p>1 授業は予習を前提として進めます。予習と復習を励行してください。</p> <p>①英文を正確に理解するためには、語彙力と構文力が問われます。辞書を引くのを厭わずに何度でも引いてください。</p> <p>②語学の定着には反復練習が不可欠です。まずは音読し、さらには書きながら音読するのを繰り返してください。</p> <p>2 授業以外にも英語に触れる機会は多くあります。積極的にそして主体的に取り組むことにより、平易で基本的なものの楽しさを感じてください。</p>
教科書	「English First Basic」 (大学英語の総合的アプローチ：基礎編) Robert Hickling・臼倉美里 著 (金星堂)
参考書	授業時に紹介します。
成績評価	授業への積極性、授業での発表、小テスト、提出物、定期試験の結果などにより総合的に評価します。授業参加ー25%、発表・小テスト・提出物ー25%、定期試験50%を目安とします。
担当教員の基本情報	<p>担当教員名 : 橋本 貴美子</p> <p>研究室 : 6号館1階非常勤講師室</p> <p>メールアドレス :</p> <p>オフィスアワー : 授業後10分間</p>
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択必修
担当教員			
浅野 敏朗			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：演習	

授業目標	<p>この科目では、4技能を統合的に活用しながら英語の基礎力充実を目指します。具体的には、語彙学習や会話のリスニング、文法学習やリーディング、さらにはライティングから英語によるプレゼンテーションにいたるまでの多様な学習活動を通して、実用的な英語力を身に付けることを目標とします。</p> <p>テキストに扱われているそれぞれのテーマについて、まず重要な語彙を確認してから会話の聞き取り練習をして内容をしっかり把握します。次に、そのテーマに関する短い英文を読んで内容をよく理解します。これらの会話文や英文は、構文や意味を理解しながら正しく音読することができるようになるまで十分に習熟しましょう。また、各ユニットには英語の文法事項が割り当てられています。その文法事項の知識について不十分な個所はしっかり補充し理解を完全にすることに努めましょう。さらに最終的には、各ユニットのテーマに関して、自己表現ができるようになることを目指しましょう。</p>		
授業計画	第1回	Unit 1 Jobs & Careers (現在時制)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第2回	Unit 2 Entertainment (可算名詞/不可算名詞)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第3回	Unit 3 Work Schedule (前置詞)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第4回	Unit 4 Health & Fitness (過去時制)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第5回	Unit 5 Shopping (進行形)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第6回	Unit 6 Business Meeting (代名詞)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第7回	Unit 7 Recruitment (現在完了)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第8回	Unit 8 Customer Needs (接続詞)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第9回	Unit 9 Business Trip (will / be going to)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第10回	Unit 10 Advertising (比較)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第11回	Unit 11 Factory Tour (受動態)	<p>[到達目標] このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。</p> <p>[備考] 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
	第12回	Unit 12 Money Matters (動名詞/不定詞)	<p>[到達目標]</p>

	<p>このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。 〔備考〕 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p> <p>第13回 Unit 13 Leisure (助動詞) 〔到達目標〕 このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。 〔備考〕 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p> <p>第14回 Unit 14 Environment (分詞) 〔到達目標〕 このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。 〔備考〕 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p> <p>第15回 Unit 15 Business Tie-Up (関係詞) 〔到達目標〕 このユニットで扱われている大切な表現を使って英語でコミュニケーションすることができる。 〔備考〕 授業に備えて音声教材をよく聴き問題に解答しておくこと。</p>
授業時間外の学習 (準備学習等)について	<p>英語力の向上を目指して、授業時間外に少しでも多く予習と復習の時間を確保してください。以下は、授業時間外の学習についての留意事項です。</p> <p>1) 英語に触れる機会を少しでも多くしてください。たとえ10分でも20分でも集中すればそれだけの効果があります。</p> <p>2) 英語の学習の基本は、理解することと練習することです。この両方に半分ずつのエネルギーを使ってください。内容理解と反復練習のサイクルを積み重ねることにより、英語力は着実に向上していきます。</p> <p>3) 与えられた英文の意味を、語彙力と構文力を使って正確に理解することがまず第一歩です。辞書を活用しながら、推測力を働かせてわからない個所の意味を把握しようとしてください。</p> <p>4) 意味が理解できたら、その次は反復練習です。繰り返して音読、音読+筆写することによって、その英文をできるだけしっかりと身につけよう、覚えてしまおうとする努力が大切です。</p> <p>5) 英語の学習もまずは自分から主体的に取り組む姿勢が肝心です。授業を刺激剤として意欲を活性化し、自らの力で問題解決を試み、能力・技能を身につけていこうとする積極性が大切です。</p>
教科書	English Switch (ストーリーで学ぶ 大学基礎英語とTOEICテスト頻出語彙) (金星堂) ISBN 978-4-7647-4012-9
参考書	英和辞典は授業時に必携です。
成績評価	授業参加への積極性、授業での発言・発表、提出物、そして定期試験の結果などにより総合的に評価します。とりわけ授業参加への積極性は、重要な評価の対象です。評価の内訳は目安として、授業参加 20～30%、発言・発表と提出物 10～20%、定期試験 50～70% を考えています。
担当教員の基本情報	担当教員名 : 浅野敏朗 オフィスアワー : 授業後10分間
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択必修
担当教員			
中山 肯英			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：演習	

授業目標	【授業目標】 発音（ピンイン）練習から始め、ヒアリング、簡単な日常会話の基礎を学び、文章の読解と共に、簡単な日常会話により意思の疎通を図れるようにする。		
授業計画	1回目	アプローチ [到達目標] 中国語とは、どんな言葉かについて理解する。 簡体字、繁体字、新字体について理解する。 [備考] ・テキストに基づいて授業前の予習、授業後の復習・練習をする。 ・参考資料を随時配布するので、それを授業前に調べる。	
	2回目	発音表記法「ピンイン」について [到達目標] 声調、単母音、複母音、子音の組み合わせを正しく発音する。	
	3回目	発音表記法「ピンイン」について [到達目標] -n, -ngを持つ母音、軽声、声調の変化・組み合わせを正しく発音する。 自分の名前を言えるようになる。	
	4回目	覚えておきたい表現を言うことができるようにする。 「第1課」あいさつする [到達目標] 1. 中国語であいさつができるようになる。	
	5回目	2. 日本人・中国人であると言えるようになる。 「第2課」名前を尋ねる [到達目標] 1. 相手の名前を尋ねられるようになる。	
	6回目	2. 趣味について話せるようになる。 「第3課」食べたいものを尋ねる [到達目標] 1. 食べたいもの、飲みたいものを言えるようになる。	
	7回目	2. あいてはどうする、同じ質問を返せるようになる。 「第4課」近況を尋ねる 1. 相手が忙しいかどうか、尋ねられるようになる。	
	8回目	2. 週末の予定について話せるようになる。 復習1 [到達目標] 1. 第1課～第4課を復習し、文章でまとめてみましょう。	
	9回目	「第5課」予定を尋ねる 1. 相手の予定を尋ねられるようになる。	
	10回目	2. 何時に何をするか言えるようになる。 「第6課」場所を尋ねる [到達目標] 1. 行きたい場所がどこにあるか、尋ねられるようになる。	
	11回目	「第7課」注文する [到達目標] 1. 料理や飲み物を注文できるようになる。	
	12回目	2. ほしいものがあるかどうか尋ねられるようになる。 「第8課」値段を交渉する [到達目標] 1. 品物の値段を尋ねられるようになる。	
	13回目	2. 値下げの交渉ができるようになる。 復習2 [到達目標] 1. 第5課～第8課を復習し、文章でまとめて見ましょう。	
	14回目	コミュニケーション まとめ	
	15回目	まとめ	
授業時間外の学習（準備学習等）について	1. 受講前にテキストを予習する。 2. 受講後にテキストを熟読し、覚える。 3. テキストに付いているCDを繰り返し聴いて、覚える。 4. 随時プリントを配布するので、対応部分について調べる。		

教科書	「できる・つたわるコミュニケーション中国語」岩井伸子・胡興智 著（白水社）
参考書	「中日辞典」北京商務印書館編集（小学館） 「日中辞典」北京對外貿易經濟大学、北京商務印書館編集（小学館）
成績評価	期末試験40%・授業内演習30%・学習態度など30%。
担当教員の基本情報	担当教員名 : 中山肯英 研究室 : 非常勤講師 メールアドレス : keiei777@hotmail.co.jp
備考	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択必修
担当教員			
フォコニエ・フランク			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：演習	

授業目標	このクラスでは、フランス語を話す国に旅行すれば、便利な構文と簡単な日常会話を習う。また、様々な例を用いてフランス文化についても説明し、皆さんの外国文化に対する興味を高めます。		
授業計画	1回目	INTRODUCTION + SALUER (1) + SE PRESENTER (1) [到達目標] フランスの姿、ヨーロッパの中のフランス、フランス語圏を知る、フランス語の音を聞き分ける。 挨拶する、別れ挨拶する、簡単な自己紹介する。	
	2回目	VOCABULAIRE DE LA CLASSE + ALPHABET + SE PRESENTER (2) [到達目標] 教室でよく使う表現 名前のつづりを言う、単語のつづりを尋ねる、自己紹介する。	
	3回目	LES NOMBRES (0-, 31) + LES JOURS ET LES MOIS + DEMANDER LE SENS [到達目標] 数字、日/月 単語の意味を尋ねる。	
	4回目	DIRE SES GOUTS (1) [到達目標] 好きなものを言う (1)	
	5回目	DIRE SES GOUTS (2) [到達目標] 好きなものを言う (2)	
	6回目	PETITS TESTS D' ECOUTE ET DE CONVERSATION [到達目標] 小テスト	
	7回目	COMMANDER QUELQUE CHOSE AU CAFE/RESTAURANT [到達目標] カフェ/レストランで注文する。	
	8回目	LES NOMBRES (-1000) + DEMANDER LE PRIX [到達目標] 数字、値段を尋ねる。	
	9回目	L' HEURE [到達目標] 時間を尋ねる。	
	10回目	RESERVER UN BILLET DE TRAIN [到達目標] 電車の切符を予約する。	
	11回目	PETITS TESTS D' ECOUTE ET DE CONVERSATION 小テスト	
	12回目	INTERROGER SUR UN LIEU ET SITUER UN LIEU [到達目標] 場所について尋ねる。	
	13回目	DEMANDER LE CHEMIN [到達目標] 道順を尋ねる。	
	14回目	VISITER PARIS [到達目標] パリで観光する。	
	15回目	REVISIONS GENERALES まとめ	
授業時間外の学習 (準備学習等) について	繰り返し発音練習を行う。		
教科書	なし		
参考書	なし		
成績評価	出席回数、参加、小テスト (聞き取り+会話)、期末テスト		
担当教員の基本情報	担当教員名 : フォコニエ フランク (非常勤講師) 研究室 : 6号館1階非常勤講師室 メールアドレス : parisosaka_75@hotmail.com オフィスアワー : 授業終了後		

備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
渡邊 康晴			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：演習	

授業目標	<p>コンピュータとインターネットを便利に使い、様々な書類を作成するスキルの獲得を目標とします。また、コンピュータとインターネットに絡んだ犯罪から身を守る知識の習得し、具体的に対処する方法について学びます。</p> <p>4年間の大学生活を送るにあたり必要なコンピュータスキルと犯罪に巻き込まれないための知識を習得し、実践できることを到達目標としています。</p> <p>ガイダンスには「必ず」出席して下さい。本学のコンピュータシステムおよびメール等、学生生活に必要な事項について説明します。</p>		
授業計画	第1講	<p>ガイダンス、PCとメールの利用法</p> <p>[到達目標] 本学のコンピュータとメールを使うことができる 携帯電話（スマホ）で本学メールを使用できる 学生支援システムの役割を知り、利用できる</p> <p>[備考] 授業内で大学メールの携帯転送設定を確認する</p>	
	第2講	<p>情報を探す</p> <p>[到達目標] 情報メディア教室で印刷が行える 高度なWeb検索が行える</p> <p>[備考] USBメモリー（容量は問わない）とイヤホン（or ヘッドホン）を持参すること</p>	
	第3講	<p>ワープロで文書を作る、タッチタイピングを身につける</p> <p>[到達目標] ワープロが使える、文書のレイアウトを整えることができる タッチタイピングの習得方法がわかる ショートカットキーを使うことができる</p> <p>[備考] 課題提出・小テストあり</p>	
	第4講	<p>表計算1：基本操作と便利な使い方を学ぶ</p> <p>[到達目標] 表計算ソフトを操作し、四則演算ができる 表計算ソフトを使って表が作成できる</p> <p>[備考] 小テストあり</p>	
	第5講	<p>表計算2：関数とグラフを学ぶ</p> <p>[到達目標] 表計算ソフトで棒グラフが作成できる 表計算ソフトで良く使う関数を使うことができる</p> <p>[備考] 小テストあり</p>	
	第6講	<p>表計算3：分散と標準偏差を理解する</p> <p>[到達目標] データのバラツキについて説明できる</p> <p>[備考] 小テストあり</p>	
	第7講	<p>表計算4：グラフ、表、数値の読み方</p> <p>[到達目標] 種々のグラフ、表、数値を読み解くことができる</p> <p>[備考] 小テストあり</p>	
	第8講	<p>表計算5：復習と演習</p> <p>[到達目標] 表計算で学習した内容を独力で実践できる</p> <p>[備考] 小テストあり</p>	
	第9講	<p>表計算を用いたデータ整理と表示法のテスト</p> <p>[到達目標] 表計算ソフトを独力で使いこなすことができる</p> <p>[備考] 表計算のテストを実施する</p>	
	第10講	<p>プレゼンテーション1：プレゼンテーションソフトを使いこなす</p> <p>[到達目標] プレゼンテーションソフトを使うことができる プレゼンスライド上で様々な表現が行える</p> <p>[備考] プレゼンテーション2：他者と意見を交える</p>	
	第11講	<p>[到達目標]</p>	

	<p>他者と円滑にグループワークが行える ディスカッションの内容に従って、プレゼン資料が作成できる [備考] プレゼンテーション3：自分達の意見を発表する [到達目標] グループの一員として自分の考えを提示できる 他者の意見を傾聴できる [備考] プレゼン発表を実施します ビジネスでメールを使う [到達目標] メールのCCやBCC、署名が使える ビジネスメールのマナーが実践できる [備考] 課題提出・小テストあり 第14講 パスワード管理、悪意のあるプログラムを知る1 [到達目標] 適切なパスワードを作り管理することができる マルウェア（コンピュータウイルス）の実態を説明できる [備考] 小テストあり 第15講 悪意のあるプログラムを知る2、ネットの脅威から身を守る [到達目標] マルウェア（コンピュータウイルス）対策を実行できる ネットの脅威から身を守るための対策を実施できる [備考] 課題提出・小テストあり</p>
授業時間外の学習 （準備学習等）について	適宜、復習を行い、コンピュータスキル獲得に努めて下さい。
教科書	<p>「情報倫理ハンドブック」 （NOA出版） 学内専用ホームページ http://mmh1.meiji-u.ac.jp/moodle 学外からもアクセスできるホームページ http://www.meiji-u.ac.jp/md-medinfo/lecture</p>
参考書	「知へのステップ」 学習技術研究会 著（くろしお出版）
成績評価	評価割合は授業内課題17%、小テスト23%、プレゼン発表20%、第9講で実施するテスト40%とします。
担当教員の基本情報	<p>担当教員名 : ○渡邊 康晴 研究室 : 病院1階 MR センター メールアドレス : nabe@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 月曜日17:00-18:00</p> <p>担当教員名 : 梅田雅宏 研究室 : 病院1階 MR センター メールアドレス : ume@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 月曜日17:00-18:00</p> <p>担当教員名 : 河合 裕子 研究室 : 病院1階 MR センター メールアドレス : kawai@meiji-u.ac.jp オフィスアワー : 月曜日17:00-18:00</p>
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
佐別当 義博			
配当学科：救急救命学科	時間数：15時間	授業形態：講義	

授業目標	倫理学の普遍的課題を前提にしながら、生命倫理学成立の歴史的背景、生命倫理学の学問的性格と今日的課題について、概略的に講義する。この講義の目的は、各自が「人間的な生誕はどうあるべきか」「人間的な死はどうあるべきか」すなわち「人間的な生はどうあるべきか」といった問題を医療・看護と関係づけて、共に考えることである。		
授業計画	1回目	生命倫理の課題と特殊性 [到達目標] 生命倫理的な思考様式を理解する。	
	2回目	生命倫理の原則 [到達目標] SOLとQOL、自己決定とパターンリズムを理解する。	
	3回目	[備考] 課題レポート：生命倫理の原則について（3回目の講義時に提出） 生殖補助医療の現状① [到達目標] 生殖補助医療の現状について理解し、賛否両論の根拠を理解する。	
	4回目	生殖補助医療の現状② [到達目標] 生殖補助医療に関し自分なりの是非論を展開できるようになる。	
	5回目	[備考] 課題レポート：生殖補助医療について（5回目の講義時に提出） 臓器移植の現状① [到達目標] 臓器移植の現状について理解し、賛否両論の根拠を理解する。	
	6回目	臓器移植の現状② [到達目標] 臓器移植に関し自分なりの是非論を展開できるようになる。	
	7回目	[備考] 課題レポート：臓器移植について（7回目の講義時に提出） 尊厳死と安楽死① [到達目標] 尊厳死・安楽死について理解し、賛否両論の根拠を理解する。	
	8回目	尊厳死と安楽死② まとめ [到達目標] 尊厳死・安楽死について自分なりの是非論を展開できるようになる。	
		[備考] 課題レポート：尊厳死・安楽死について（別途指定時に提出）	
授業時間外の学習（準備学習等）について	①事前に配付される講義資料を読み、問題意識を明確にしておくこと。 ②単元ごとにレポートを実施する。		
教科書	使用しない。講義資料を配付する。		
参考書	講義の進行に合わせてその都度紹介する。		
成績評価	授業計画に記した4回のレポートで評価する。 レポートごとに合否を判定し、基準を満たさない場合は再レポートを課す。		
担当教員の基本情報	担当教員名：佐別当 義博（非常勤講師） 研究室：6号館1階非常勤講師室 メールアドレス：sabetto@kyotogakuen.ac.jp オフィスアワー：授業終了後		
備考			

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1	4	必修
担当教員			
植田 広樹			
配当学科：救急救命学科	時間数：180時間	授業形態：実習	

授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士の資格取得を目標とし、基本的な応急手当、救急処置法を身に付けるとともに、人の命の尊さ、大切さを理解するとともに、救急救命処置要領の習得及び災害現場や防災ボランティア現場において即戦力となる実践型教育を本授業の主眼とする。 ・救急隊員標準課程の知識・技術の習得及び規律、礼儀が社会人として認められる教育を習いとする。 ・将来、救急救命士国家資格取得を見据えた知識・技術の習得と規律・礼儀を重んじた団体行動を養う救急救命士の育成を目標とする。
授業計画	<p>第1～6講 オリエンテーション・資器材取り扱いについて [到達目標] 資器材の取扱要領について習得する。</p> <p>第7～12講 感染防御要領について・環境観察要領について・傷病者観察要領について [到達目標] 感染防御要領から環境観察を行い、傷病者の観察要領の一連の流れを習得する。</p> <p>第13～18講 心肺蘇生法（成人に対する処置要領）ポケットマスク及びバッグバルブマスク（BVM）の活用について [到達目標] 成人に対する心肺蘇生要領が確実にできるように習得すること。</p> <p>第19～24講 心肺蘇生法（小児に対する処置要領）ポケットマスク及びバッグバルブマスク（BVM）の活用について [到達目標] 小児に対する心肺蘇生要領が確実にできるように習得すること。</p> <p>第25～30講 窒息及び窒息が疑われる傷病者に対する処置要領について・背部叩打法、腹部突き上げ法、胸部突き上げ法について [到達目標] 用手による異物除去要領が確実にできるように習得すること。</p> <p>第31～36講 第1回目から第5回目までの実技のまとめ（スキルチェック） [到達目標] 感染防御措置から異物除去要領までの一連の行動を確実に習得すること。</p> <p>第37～42講 外傷傷病者の全身観察要領について・止血法及び三角巾の活用要領について [到達目標] 全身観察要領を習得し、受傷部を三角巾で止血処置ができるように習得すること。</p> <p>第43～48講 梯状副子を活用した固定要領について・スクープストレッチャーを活用した固定要領について [到達目標] 梯状副子・三角巾を活用した骨折固定要領を習得すること。</p> <p>第49～54講 頸椎固定要領、全身固定要領について [到達目標] 頸椎固定、全身固定が安全に、かつ迅速にできるよう習得すること。</p> <p>第55～60講 三角巾を活用した処置要領について [到達目標] 傷病者の受傷部位の確認後に確実な止血処置及び固定処置ができるよう習得すること。</p> <p>第61～66講 三角巾スキルチェック [到達目標] 各部位に対して、三角巾止血処置ができる。</p> <p>第67～72講 保温要領、搬送要領について [到達目標] 傷病者の保温を実施し、傷病者に動揺等を与えず安全に、かつ迅速に搬送できることを習得すること。</p> <p>第73～78講 隊活動としての感染防御・環境観察・傷病者観察から心肺蘇生法までの実習 [到達目標] 観察結果から判断した心肺蘇生処置、止血処置、保温要領、搬送要領が適切に実施できることを習得する。</p> <p>第79～84講 隊活動としての感染防御・環境観察・傷病者観察から心肺蘇生法までの実習2 [到達目標] 観察結果から判断した心肺蘇生処置、止血処置、保温要領、搬送要領が適切に実施できることを習得する。</p> <p>第85～90講 まとめ（評価含む） [到達目標] 各救急処置が的確・迅速かつ安全にできることを習得する。</p>
授業時間外の学習（準備学習等）について	各授業日までに指定された救急救命士標準テキスト第9版を読み、自習すること。毎回の授業でレポート課題を提示するので、次の授業に課題提出。
教科書	救急技術マニュアル 救急隊員標準テキスト J P T E Cガイドブック

	救急資器材管理マニュアル 救急蘇生法の指針2015（市民用・解説編） 救急救命士標準テキスト（改訂第9版、上巻・下巻）
参考書	教科書と同じ
成績評価	平常点20%（レポートの課題提出状況及び評価、授業態度、団体行動） 定期実技試験50% 定期筆記試験30%
担当教員の基本情報	<p>担当教員名 : 植田 広樹 研究室 : 6号館2階研究室 メールアドレス : オフィスアワー :</p> <p>担当教員名 : 木内 賢一 研究室 : 6号館2階研究室 メールアドレス : オフィスアワー :</p> <p>担当教員名 : 坪倉 寛明 研究室 : 6号館2階研究室 メールアドレス : オフィスアワー :</p> <p>担当教員名 : 千田 いずみ 研究室 : 6号館2階講師室 メールアドレス : オフィスアワー :</p>
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
喜熨斗智也			
配当学科：救急救命学科	時間数：60時間	授業形態：実習	

授業目標	プール、海における水難事故に対する、1) 危険予測・予防する能力、2) 自身の身を守る（セルフレスキュー）能力、3) バイスタンダーとしての最低限の救助方法（バイスタンダーレスキュー）を理解・習得する。さらに 海浜で起こる事故に際し、ライフセーバーを含めた関係機関の活動を理解する。また、本実習を通して、団体行動、集団生活における時間管理・規律、礼儀を養い、救急救命士としての心構え、人格形成を行う。
授業計画	<p>第1講 プールにおける水難事故とその対応 [到達目標] 水難事故の知識、救助者の心構えを習得する。</p> <p>第2講 基本泳法の確認 [到達目標] クロール、平泳ぎ、背泳ぎを習得状況を確認する。</p> <p>第3講 セルフレスキュー [到達目標] 入水法、水中歩行、サバイバルフローティング、背浮き、立ち泳ぎ、スカーリング、エレメンタリーバックストロークを習得する。</p> <p>第4講 バイスタンダーレスキュー [到達目標] リーチングアシスト、スローイングアシストを習得する。</p> <p>第5講 着衣泳 [到達目標] 着衣状態での特性、落水時の対応、PFDを用いた保温法、PFDの脱着を習得する。</p> <p>第6講 脊椎損傷への対応 [到達目標] 水中での脊椎損傷への観察法、処置、搬送法を習得する。</p> <p>第7講 傷病者の搬送 [到達目標] 水中、陸上での傷病者の搬送法を取得する。</p> <p>第8講 海浜での事故とその対応 [到達目標] 起床・海嘯、風の特徴など、海での救助に必要な知識を習得する。</p> <p>第9講 レスキューシグナル [到達目標] 海浜での指示を的確に行うためのシグナルの出し方、受け方を習得する。</p> <p>第10講 海浜での応急処置法 [到達目標] 海浜で発生頻度の高い傷病に対する処置法を習得する。</p> <p>第11講 レスキューチューブを用いた救助 [到達目標] レスキューチューブを用いて溺者を救助する方法を習得する。</p> <p>第12講 レスキューボードを用いた救助 [到達目標] レスキューボードを用いて溺者を救助する方法を習得する。</p> <p>第13講 IRBでの救助 [到達目標] IRBを用いて溺者を救助する方法を習得する。</p> <p>第14講 総合シミュレーション [到達目標] 実習を通して学んだ知識・技術を用いたシミュレーション訓練を行う。</p> <p>第15講 まとめ（評価含む） [到達目標] 知識、技術の習得状況の確認を行う。</p>
授業時間外の学習（準備学習等）について	<p>本授業の受講条件を下記に定める。 基本泳法（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ）を習得していること。 泳力の基準：50メートル/40秒以内、400メートル/9分以内、潜行20メートル以上、立泳/5分以上</p> <p>教科書の内容を事前に理解しておくこと。授業をやむを得ない理由を除き、遅刻した場合は参加を認めない。</p>
教科書	ウォーターセーフティプログラム（国土館大学防災・救急救助総合研究所 発行） サーフライフセービング教本（日本ライフセービング協会 発行）
参考書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻・下巻（へるす出版 発行）
成績評価	筆記試験、実技試験、出席、授業態度で評価する。

<p>担当教員の基本情報</p>	<p>担当教員名 : 喜熨斗 智也 研究室 : 6号館1階非常勤講師室 メールアドレス : オフィスアワー : 授業終了後</p> <p>担当教員名 : 田中 秀治 研究室 : 6号館1階非常勤講師室 メールアドレス : オフィスアワー : 授業終了後</p> <p>担当教員名 : 植田 広樹 研究室 : 6号館2階研究室 メールアドレス : オフィスアワー : 授業終了後</p> <p>担当教員名 : 坂梨 秀地 研究室 : 6号館2階研究室 メールアドレス : オフィスアワー : 授業終了後</p>
<p>備考</p>	<p>本授業では、日本ライフセービング協会が認定するベーシック・サーフ・ライフセーバーの資格取得が可能である。</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択必修
担当教員			
村川 増代			
配当学科：救急救命学科	時間数：30時間	授業形態：実習	

授業目標	生涯を通じて健康維持増進を図ることへの関心が高まって以来久しいが、それを楽しく実践でき、しかも持続させられる手段の一つとして、ネット競技型スポーツ活動は有効である。ネット競技型スポーツの特徴は、ネットを挟んで自分たちの陣地をチームで攻防する。これは、チームの結団が求められ、攻めの技を發揮する時も、単なる技比べだけではなく、同時に相手チームの動きを洞察する能力が求められる。本時では、「バドミントン・バレーボール」をとりあげる。この授業は、先ずルールの把握と基本技術を習得し仲間づくりを兼ねる。その後は、主にゲーム形式を中心として展開し、戦術を練るグループコミュニケーション能力や応用技術を習得する。本時の受講生は、「基礎体力の維持増進を一生涯工夫する能力と、それを実践する運動習慣を身に付けた人」と言われるようになることを目標とする。
授業計画	<p>第1講 ガイダンス [到達目標] 体育館に集合し諸注意および授業の進め方について理解する</p> <p>第2講 バドミントン (1) 基本・基礎技術の練習 [到達目標] 概要とルール説明、基本練習 (グリップと構え、基本ストローク)</p> <p>第3講 バドミントン (2) 基本・基礎技術の練習 [到達目標] 基本練習 (サーブとスマッシュ)、簡易ゲーム</p> <p>第4講 バドミントン (3) 基本・基礎技術の練習 [到達目標] 基本練習 (プッシュとハイクリア)、簡易ゲーム</p> <p>第5講 バドミントン (4) 簡易ゲーム [到達目標] 簡易ゲーム (試合における戦術を理解する)</p> <p>第6講 バドミントン (5) 応用技術とゲーム [到達目標] 正規ルールでのゲーム (半面シングルスでゲーム進行のルールを覚える)</p> <p>第7講 バドミントン (6) 応用技術とゲーム [到達目標] 正規ルールでのゲーム (ダブルスでのゲーム進行のルールを覚える)</p> <p>第8講 バドミントン (7) ゲーム [到達目標] リーグ戦 (正規ルールを理解し、応用技術を習得する)</p> <p>第9講 バレーボール(1) 基本・基礎技術の練習 [到達目標] 概要とルール説明、基本練習 (正確なフォームでのパス)</p> <p>第10講 バレーボール(2) 基本・基礎技術の練習 [到達目標] 基本練習 (パス、レシーブ、サーブ) の習得、簡易ゲーム</p> <p>第11講 バレーボール(3) 基本・基礎技術の練習 [到達目標] 基本練習 (レシーブ、トス、アタック) の三段攻撃の習得、簡易ゲーム</p> <p>第12講 バレーボール(4) 簡易ゲーム [到達目標] 簡易ゲーム (試合における戦術を理解する)</p> <p>第13講 バレーボール(5) 応用技術とゲーム [到達目標] 正規ルールでのゲーム (コミュニケーション能力や応用技術を習得する)</p> <p>第14講 バレーボール(6) 応用技術とゲーム [到達目標] リーグ戦 (正規ルールを理解し、応用技術を習得する)</p> <p>第15講 バレーボール(7) ゲーム [到達目標] リーグ戦 (正規ルールを復習する)</p>
授業時間外の学習 (準備学習等) について	資料を集め、バドミントンとバレーボールの自分のルールブックを作成する。 就こうとする職業の専門的視点から見た、「高齢者向け体力づくりトレーニングメニュー」を作成する。
教科書	必要に応じて適宜資料等を配布します。
参考書	必要に応じて適宜資料等を配布します。
成績評価	技術の獲得や戦術の理解 40%、努力・意欲の度合い 40%、授業中の安全管理および他者との協調性 20% で総合評価する。

担当教員の基本情報	担当教員名 : 村川 増代 研究室 : 6号館1階非常勤講師室 メールアドレス : オフィスアワー : 授業前後に質問等を受け付けます
備考	服装は、運動に適した服装、屋内シューズ。 水分補給は、水筒・ペットボトルなどを持参し、小まめな水分補給で自己管理。